

満員御礼！「アイサンテクノロジーITSフェア2015」開催報告

2015年6月24日、ホテル名古屋ガーデンパレスにて、弊社主催、国立大学法人 名古屋大学（以下、名古屋大学）及びインターネットITS協議会の協賛により開催。当イベントでは、「自動走行・安全運転支援」・「高精度測位社会」・「高精度地図」をキーワードとするセミナー、並びに技術研究成果を紹介する展示を実施致しました。特にセミナー会場は120名ものご来場を賜り、大変好評を得る結果となりました。

基調講演においては、高精度三次元地図をベースとして、車両搭載センサが車両自己位置をリアルタイムに推定する、自動運転支援技術について、その第一人者である名古屋大学大学院 准教授 加藤真平様による講演をいただき、また、その地図のリアルタイム更新に欠かせないとされるプローブ情報の最新動向について、インターネットITS協議会 事務局長 時津直樹様に講演いただきました。自動走行・安全運転支援には、2018年度の実用準天頂衛星の利活用によるセンチメートル級の高精度測位の実現と高精度な地図情報が不可欠な技術と言え、また2015年2月に国連決議された衛星測位と地図のズレへの対策も重要な課題となっております。セッションワーキングにおいては、三菱電機株式会社様を始め、弊社が採択を受けましたSIP※1：自動走行システム 衛星測位利活用調査事業実施報告等、高精度測位社会の実現に向けたこれら課題についての講演が連なり、ご来場の皆様には、長時間にわたり熱心なご清聴を賜りました。

当イベントには、来賓として、一般社団法人 測位航法学会※2 安田会長、一般財団法人 衛星測位利用推進センター※3 中島専務理事からのご挨拶も頂戴し、セミナー後の情報交換懇親会まで盛況のうちに終わりました。弊社では、名古屋大学との共同研究をはじめ、高精度測位社会実現の諸課題解決に向けた研究開発を今後も進めてまいります。

※1 SIP：科学技術イノベーション実現へ国は「戦略的イノベーション創造プログラム（Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program）」を平成25年にスタートさせた。

※2 一般社団法人 測位航法学会：日本学術会議の協力学術研究団体指定。測位分野の研究者を結集し、研究開発の裾野拡大と人材の効率的な養成を目指し2009年に設立。

※3 一般財団法人 衛星測位利用推進センター：地理空間情報の高度活用社会の実現に向けた次世代衛星測位利用等の調査研究の推進、事業化の活性化を目指し2007年に設立。

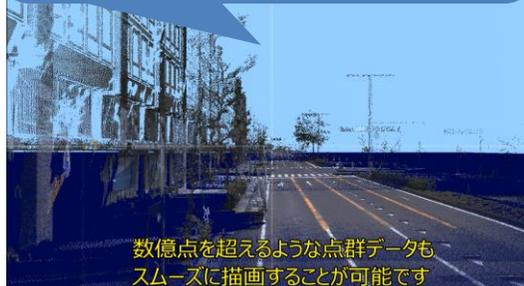


名古屋大学大学院 加藤准教授
による自動走行に関する基調講演

セッションワーキング講演
・SIP：衛星測位利活用調査報告
・産業競争力懇談会（COCN）
2015プロジェクト
・高精度地図作成の新技术紹介
・「衛星測位と地図のズレ」対策



弊社による高精度地図作成の新技术の紹介
60億点超の3D点群読み込み可能！
電柱・人・駐車車両等を自動認識し点群を
削除編集可能な弊社開発中製品
「3D-Wing」も非常に高評価をいただきました



数億点を超えるような点群データも
スムーズに描画することが可能です



弊社作成三次元地
図データ実装の
名古屋大学自動運
転カーの実車展示

【免責とお断り・注意事項】

本通信及び弊社ホームページの記事事項は、株主・投資家の皆様お客様に対し、迅速な情報公開・提供を目的とし、投資勧誘を目的としているものではありません。掲載内容により被った損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。